

令和3年度 流山市立東小学校 学校経営方針

学校教育目標

「主体的に考え行動する 人間性豊かな児童の育成」

*主体的に考え行動する＝学びを活かし、幸せを創る

*人間性豊かな＝他の人の良さを認め自分も大切にする

1 経営の基調

子どもに関わる全ての人々の力を結集して、指導・支援にあたる。

2 めざす子ども像

なかよく	思いやりのある子	自分も友達も	大切にする
かしこく	進んで学び考える子	学び合い	学びを活かす
元気よく	元気で明るい子	あいさつを大切に	する 進んで体をきたえる

3 めざす教師像 信頼される教師

- ・感性豊かな教師
- ・明るく表情豊かな教師
- ・児童をやる気にさせる教師
- ・常に授業改善を図る教師
- ・時代の変化に対応できる教師

4 めざす学校像

子どもが自信と誇りを持ち明るく元気に活動し、保護者・地域に信頼される学校

5 経営の基本方針

- (1) 安全で安心な生活ができる学校
- (2) 子どもの良さや可能性を引き出し伸ばす学校
- (3) 笑顔があふれ活力のある学校
- (4) 資質・力量向上のため切磋琢磨する学校
- (5) 組織的に活動する学校
- (6) 保・幼・小・中、地域等との連携を大切にする学校

主な取り組み

心の充実

① 基本的生活習慣の確立

- ・ 低学年の基本的な生活習慣を丁寧に行う→朝の教室での向かい入れ
朝の準備 あいさつ 学習規律
- ・ 早寝早起き→睡眠時間の確保
- ・ 学習規律の徹底

② 自己肯定感を高める言葉かけ

- ・ あなたならできる！ ・ ほら、できたじゃない！
- ・ 頑張ったから、できたんだよ！

③ 豊かな人間関係づくり

- ・ 道徳教育の充実、推進（授業参観での授業展開）、豊かな人間関係づくりプログラムの実施。
- ・ 体験的な活動から、連帯感や達成感を培い信頼関係を築く。
- ・ QUの活用

④ 情操の涵養と体験活動の充実

- ・ 異年齢交流 ・ 地域の方々との交流による人間関係づくり

⑤ 特別支援教育の充実

- ・ 支援を必要とする児童などの情報を共有し、全教職員で声をかける。
ケース会議による情報の共有

学力の育成

① 基礎基本の定着

- ・ 豊かな学びを支える学級集団、相互の異質性を受け入れながら、強い信頼感のもとで、広く多様なメンバーと関わり学びあえる集団をつくる。

② 学び合いの定着

- ・ 学習課題（問題）を明確にした授業展開
- ・ 個に応じた指導の充実

③ テーチャングとコーチャング

- ・ 発達段階に応じた使い分け
- ・ 指導する場面、学び合いの場面→有用性を明確にしてメリハリをつける。

④ 算数（研究教科）を中心に学んだことを活かす取り組み

⑤ 新しい学び合いの構築→教師⇄児童 児童⇄児童

I C Tを活用した学び合い

体力の維持向上

① 基礎体力の向上

- ・ 実態に応じた準備運動等（運動能力テストの結果活用）、「体づくり運動」の活用

② 進んで体を鍛える場の設定

- ・ 外遊びの奨励（運動の日常化）
- ・ かがやきの森の有効活用 → 整備と充実

③ 命と健康を大切にする教育の推進

- ・ 自らの命を守る教育支援
- ・ 防災・防火・不審者対応訓練
- ・ 感染症対策
- ・ 関係機関との連携

全教職員で子どもを育てる取り組み

- ・「報告」「連絡」「相談」体制の充実 ホウレンソウ
- ・学年体制の構築：学年目標のもと 情報共有→共通理解→共通行動
- ・個別支援計画・指導計画の作成活用、特別支援コーディネーター中心に対応 ケース会議の実施

地域と共に歩む学校

- ・外的資源の活用
キャリア教育の充実 博物館の資源活用 外部講師の積極的な活用
- ・家庭・地域の教育力を生かした協働の取り組み（多様な体験活動）
- ・地域と連携した教育活動、開かれた教育活動（学校便り・学年便り・HPの充実）
- ・登下校指導、安全指導の地域連携